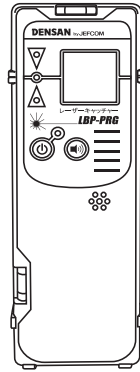




### レーザーキャッチャー LBP-PRG

## 取扱説明書

この度は、デンサン レーザーキャッチャー LBP-PRGをお買い求めいただき誠にありがとうございます。  
ご使用前にあたっては必ず本書をお読みいただき、ご使用される方がいつでも見ることができるところに必ず保管してくださいませようお願いいたします。



製品の仕様及び外観を改善のため予告なく変更することがあります。  
掲載の図は、説明をわかりやすくするために、実際とは多少異なる場合があります。あらかじめ御了承ください。

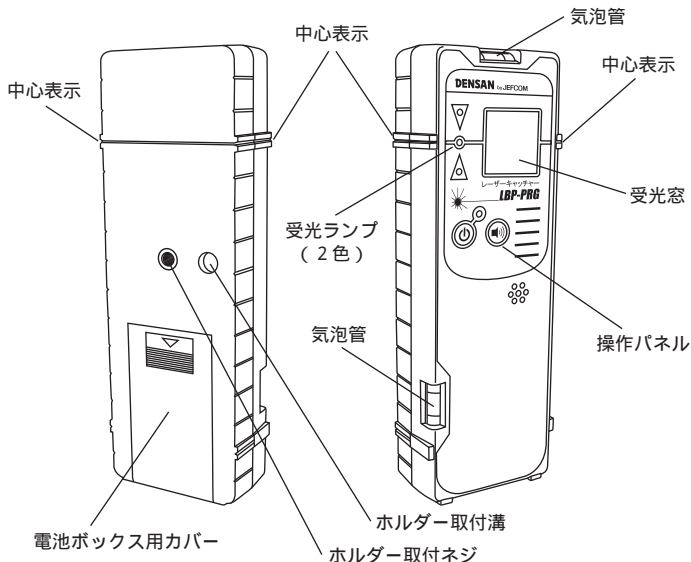
	<b>ご注意</b>	このマークは製品の取り扱いを誤った場合に使用者が障害を負う危険および物的障害の発生が想定される事を示します。
	<b>危険</b>	このマークは安全上してはいけない「禁止」内容を示します。

### 仕様

表示	高輝度LED、およびブザー音
検出距離	約1m ~ 最大約30m (但し、レーザーライン中央付近、使用環境により異なる)
検出精度	15m以内±0.5mm 30m未満±1.0mm
電源	S-006P(6F22)型積層(9V)乾電池×1
連続使用時間	約30時間(アルカリ乾電池使用時)
使用温度範囲	-10 ~ +45 結露なきこと
電池残量警告	電源パイロットランプ点滅
防塵防水	防沫、防塵型(IP54相当) *注1
オートパワーOFF	最後に操作又は受光後約10分でパワーOFF
サイズ / 重量	150×50×26mm 135g(電池込)

\*注1  
防沫型・・・『いかなる方向からの水の飛沫を受けても有害な影響がない』という規格です。  
防塵型・・・『器具の所定の動作及び安全性を阻害するじんあいの浸入から保護されている』という規格です。

### 各部の名称

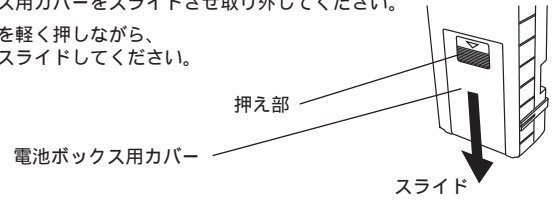


### 操作方法

#### 電池の取付

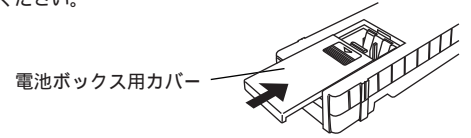
電池ボックス用カバーをスライドさせ取り外してください。

押え部を軽く押しながら、  
下方へスライドしてください。

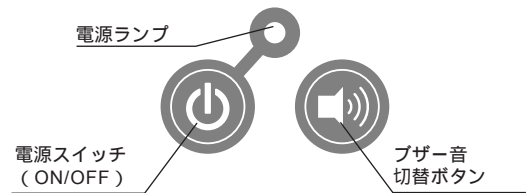


9V乾電池の+、-端子を確認した後、  
電池ボックスの+、-端子に合わせ  
入れてください。

電池ボックス用カバーを溝に合わせ  
スライドさせ取り付けてください。



#### 操作パネル

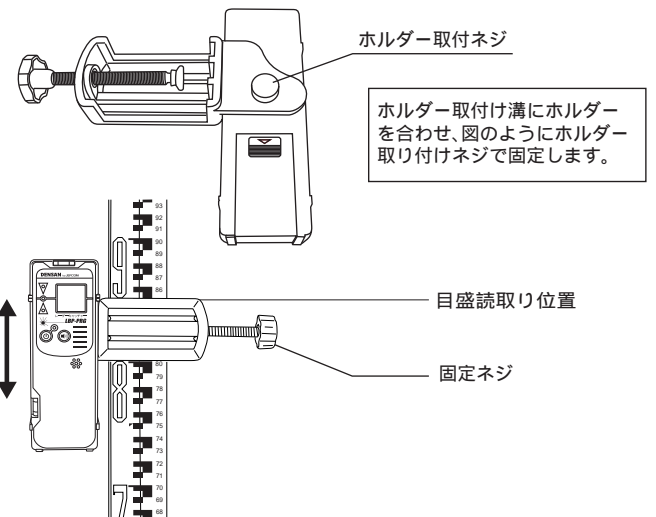


電源スイッチを押すごとに電源のON/OFFが出来ます。  
電源が入ると赤色の電源ランプが点灯します。  
\*電源ON直後、2色の受光ランプが一回だけ点灯しますので  
ランプの球切れ確認が出来ます。

ボタンを押すごとに受光ブザー音量を大・小・OFFに切替可能です。  
\*ブザー音がOFFの状態でもレーザーを最初に検出した時にのみ  
「ピッピッ」とブザー音が鳴ります。

#### ホルダーの使用方法

受光器をスタッフ等に取付けて使用するときは付属のホルダーをご使用ください。



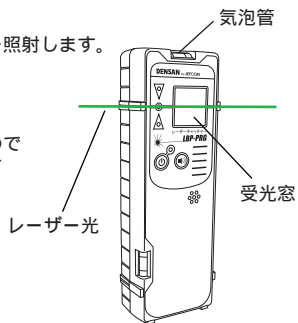
基準位置を検出する時は、固定ネジを軽く緩め、受光器をスタッフに沿って  
上下に移動させます。

## 受光方法

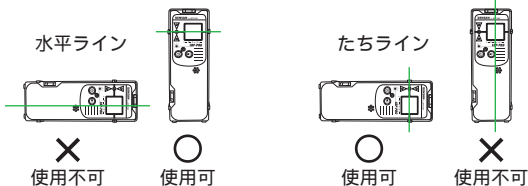
### 受光方法

レーザーポイントライナー本体からレーザーを照射します。

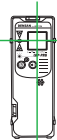
レーザーキャッチャーの電源スイッチを入れ受光窓をレーザー光に向け受光します。レーザーキャッチャー上に気泡管がありますのでレーザーキャッチャーが水平になるようにしてください。



**注意** 受光する場合は、図のようにレーザー光が受光窓に対して、必ず横切る方向で受光してください。受光窓の長手方向での使用は、精度が出ませんので行わないでください。



**注意** 受光器使用時は水平ラインとたちラインを同時に照射しないでください。図のように水平ラインとたちラインが交差した場所付近では受光器が誤作動します。受光器を使用する場合は使用しないレーザーラインは照射しないでご使用ください。



### 墨付け位置の検出

受光ランプ又はブザー音に従って受光器を上下(たちライン受光時は左右)させ墨付け位置を求めます。



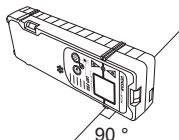
受光器が低いので受光器を上へ移動してください。ブザー音は"ピーッピーッ"と長い断続音

レーザー光が受光器の中心表示に一致しました。受光器の中心表示が墨付け位置となります。ブザーは"ピーー"と連続音

受光器が高いので受光器を下へ移動してください。ブザー音は"ピッピッピッ"と短い断続音

**注意** レーザーキャッチャー上の気泡管で水平を確認した後、墨付けを行ってください。

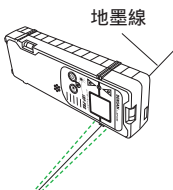
**注意** 受光器を横向きに使用する場合、右図のように出来るだけレーザー光または基準線と90°になるように、あるいは墨出器本体と正対させて使用してください。



レーザーは右にズれています。墨出器を回転させて左にレーザーを移動します。

レーザーは地墨線上にあります。

レーザーは左にズれています。墨出器を回転させて右にレーザーを移動します。



**注意** 受光器を横向きでマークする時は右図のように受光器表面のセンターマークの溝にペン先を差し込んでマークしてください。受光器の裏面からはマークしないでください。



## 搭載機能

### 電池残量警告



電池の残量が不足すると操作パネルにある電源ランプが点滅します。ランプが点滅したら新しい電池に交換してください。

### オートパワーオフ機能

最後に操作又は受光後、約10分で自動的に電源をOFFにします。電源の切り忘れによる無駄な電池消費を未然に防ぎます。

## ご使用上の注意

1. 作業時に、レーザービームは絶対に直接のぞかないでください。視力低下を招く場合があります。
2. 電池や本体を火中に投入しないでください。電池が破裂し、けがや火傷を起こす恐れがあります。
3. 絶対に分解しないでください。(故障、感電の原因になります)
4. 本体の異常に気がついたときは点検修理に出してください。
5. 修理は必ずお買い求めの販売店に依頼してください。(ご自身で修理されたものについては、当社は保証いたしません)
6. 直射日光や雨水などを受けない場所でご使用ください。
7. 本機は水しぶきから保護する構造ではありますがホース等の直接噴流や水中での使用は出来ませんのでご注意ください。また水滴が付いた場合は速やかに乾いたやわらかい布で水滴を拭き取ってください。
8. 本機は水しぶきからは保護されますが雨天時や特に受光窓に水滴が着くとその水滴がレンズ効果を起こし正しくレーザーを受光できません。必ず水滴を拭き取ってからご使用ください。
9. 電池ボックス用カバーはしっかりと締めてください。しっかりと締めた状態でのみ保証する防水防塵性能を発揮します。
10. 電池ボックス内部に塵や水分がつかないように充分に注意してください。この部分から機械内部に塵や水分が浸入すると、故障の原因となります。
11. 落下させたり強い振動を与えないでください。
12. 精密部品で構成されております。分解や乱暴な取扱いは避けてください。
13. 作業は施工者の技術責任で行われるものであり工事不良に関わる一切の責務には応じられません。
14. 高温・多湿になる場所では保管しないでください。
15. 長時間使用しない場合は電池を抜き取り墨出器本体の収納ケースに入れ保管してください。
16. 受光窓は傷や汚れのない状態で使用してください。お手入れは受光窓が傷付かないように、乾いたやわらかい布で軽くホコリを拭き取ってください。また本体についてもシンナーなどの溶剤は使用しないでください。
17. 受光器は、本機より射出されるレーザー光線以外にも蛍光灯、工事灯の他変調された光あるいは変調された電波(空港内及びその周辺等)などに反応する場合やレーザー光を受光できない場合があります。これらの周辺では正しい測定が出来ない場合があります。このような時は原因と思われる変調光または変調電波を停止させるか、遮断して測定を行うようにしてください。
18. 受光器はガラスや水溜り、金属やビニールなどの高反射面の反射レーザーに反応する場合があります。ご使用の際は周辺にこのような高反射物がないことを確認してください。
19. レーザーは陽炎や高湿により揺らぐことがある為測定が不安定になる場合があります。このような環境下でのご使用は避けてください。
20. レーザーキャッチャーLBP-PRGは弊社のレーザー墨出器LBP-4GRとの組み合わせのみにご使用ください。

## 故障かな?と思ったら

レーザーを受光できない

A, 受光器の電源は入っていますか

A, 電池の+, - は正しく装填されていますか

A, 電池の残量を確認してください。

A, 墨出器のレーザーは照射されていますか

A, 蛍光灯や工事灯のほか、変調された光あるいは変調された電波(空港内及びその周辺等)付近では受光できない場合があります。それらを遮断してご使用ください。

誤作動する。

A, 受光距離約1m以下では使用しないでください。必ず墨出器本体より

約1m以上離してレーザーキャッチャーをご使用ください。

A, 蛍光灯や工事灯のほか、変調された光あるいは変調された電波(空港内及びその周辺等)付近では誤作動する場合があります。それらを遮断してご使用ください。

A, 受光器はガラスや水溜り、金属やビニールなどの高反射面の反射レーザーに反応する場合があります。ご使用の際は周辺にこのような高反射物がないことを確認してください。

A, レーザーは陽炎や高湿により揺らぐことがある為測定が不安定になる場合があります。このような環境下でのご使用は避けてください。